

上尾中央総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問合せ先にご連絡下さい。

課題名	術後膵液漏に対する術後早期単純 Computed Tomography (CT) 検査の有用性についての検討
受付番号	632
当院の研究責任者(所属)	五十嵐 一晴 (外科)
研究協力者(所属)	中島 康介 尾崎 貴洋 豊田 真之 若林 剛 (外科)
研究期間	2018年12月31日～2019年12月31日
調査データ対象期間	2018年4月1日～2018年11月30日
本研究の目的	膵切除後の術後膵液漏に関して ISGPF (International Study Group Pancreatic Fistula Definition) では術後3日目にドレーンアミラーゼが 4000IU/l 以下であれば逆行性感染に伴う膿瘍形成を予防するために早期ドレーン抜去が提唱されている。術後膵液漏に関するドレーンから得られる情報と、CT から得られる情報を比較し、術後膵液漏およびそれに随伴する合併症の予防に寄与するかを検討する。
対象となる患者さん	当院外科で膵体尾部切除術、および膵頭十二指腸切除術を施行した患者さん。
利用する試料・情報	術後1日目、3日目、5日目、7日目のドレーンアミラーゼ値、ドレーン量、術後4日目の単純CT所見、ドレーン交換の有無、膵液漏の有無、動脈瘤の有無、出血の有無、他周術期合併症等。
試料・情報の他の研究機関への提供の有無	■無し □有り
個人情報の保護に関する情報	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源(利益相反)	■無し □有り
倫理審査等の経過	第205回 上尾中央総合病院倫理委員会にて承認
公開日	2019年1月11日
オプトアウト期間	■公開日から1か月 □当該疾患の当院受診日から6か月
お問合せ先	電話番号 048-773-1111 (代表) 上尾中央総合病院 クリニカルリサーチセンター 情報管理部・組織管理課 又は 薬剤部・治験管理科